

原稿依頼にあたっての J P A C S 記念誌発行の趣旨（案）

J P A C S 記念誌編集委員長

喜多 紘一

<目的>

1) 歴史的イベントの記録

J P A C S は日本の画像情報のデジタル化から電子保存の為の 3 基準の発案を含め健康に関する文字、波形、画像データなどを活用するための情報システムについて、その標準化の研究と普及推進を図ってきている。また、I S C L のようなセキュリティ方式の提案を行ってきている。

その時々イベントを記録することにより、日本の医療情報のデジタル化の歴史を綴ることは、読者にとって現在の活動にとって意義のあることである。

その為には

読者の活動の前提となる知識として活用できること。

読者の現在の活動に根拠付けし考え方に厚みをつけること。

イベントでの功労者を顕彰し、活動の理解を得やすくすること

2) 活動してきた思いを伝える

活動参加者の活動のエネルギーの源を伝えること

こういう目的で活動した。こうするのが良かった、こうすれば良かった、今後やって欲しいこと等、

読者の活動のエネルギーの糧や活動の手段となるようなことの伝授

3) 活動途中での逸話を記録

心に残るエピソードを記録する。

読者に読み物としての潤いを与える。記念誌としてオアシスの役割。

<発行媒体>

医用画像電子博物館に記念誌をリンクした形で発行することをメインに計画する。

希望者への限定数量での冊子印刷は今後の検討事項とする。

以上